

**平成 28 年度 「教員の個人業績評価結果」
に関する報告書**

平成30年1月

大学評価室

1. 教員の個人業績評価の実施結果 [2016 年度]

対象部局	在職教員数	評価除外者数	評価対象教員数	実施教員数	評価実施率
学部・大学院	542	25	517	405	78.3%
その他部局	251	32	219	66	30.1%
合計	793	57	736	471	64.0%

※在職教員数とは、当該年度3月31日現在の教員数を示す。

※評価除外者数とは、在籍期間が1年に満たない教員数（新規・中途採用、退職・転出等が明らかな教員）、部局等の長、テニュアトラック教員、特命教員及び寄附講座等教員を示す。

※実施教員数とは、教員業績情報システムに登録されている教員のうち、評価が実施された教員数を示す。

※評価実施率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示。

2. 教員の個人業績評価の集計方法

教員業績情報システムに登録されている教員のうち、評価が実施された教員を示す「実施教員数」のデータを使用して、クロス集計及び傾向等の分析を行う。

対象とした部局は、表1のとおり。ただし、「2016年度の評価実施率が25%未満の部局」又は「評価対象教員数が5名未満の部局」については、評価結果を表示しないものとする。

表1 評価対象部局

対象部局	2016 年度
学部・大学院	地域学部 医学部 医学系研究科 工学研究科 農学部
その他部局	乾燥地研究センター 大学教育支援機構 総合メディア基盤センター 国際交流センター 生命機能研究支援センター 産学・地域連携推進機構

- 教員の自己評価及び評価者の評価結果とは、以下の区分及び判断基準を使用したものである。

表2 自己評価及び評価結果の判断基準

区分	判断基準
AA	活動実績について十分満足できる
A	活動実績について満足できる
B	活動実績について満足できない

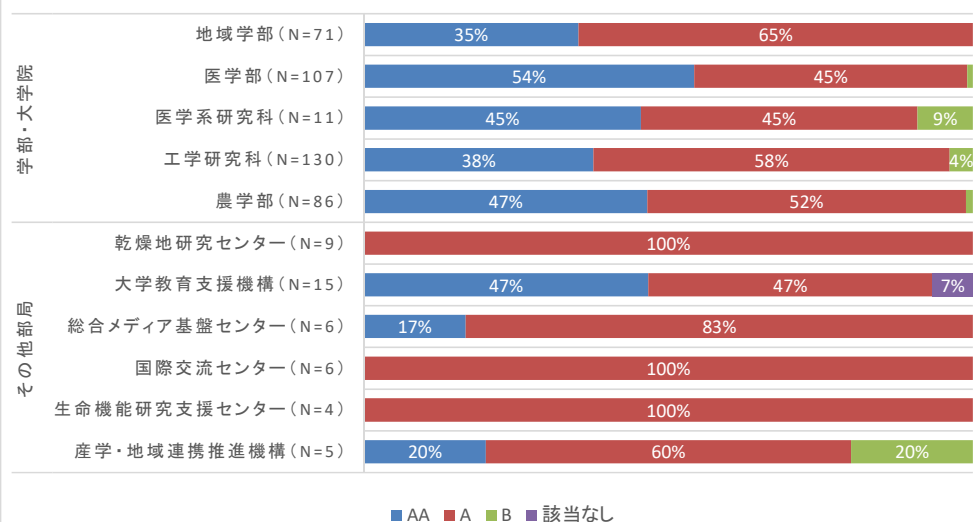
3. 評価者の評価結果 [2016 年度]

2016 年度に評価者が判定した評価結果について、部局別及び職名別に示す。

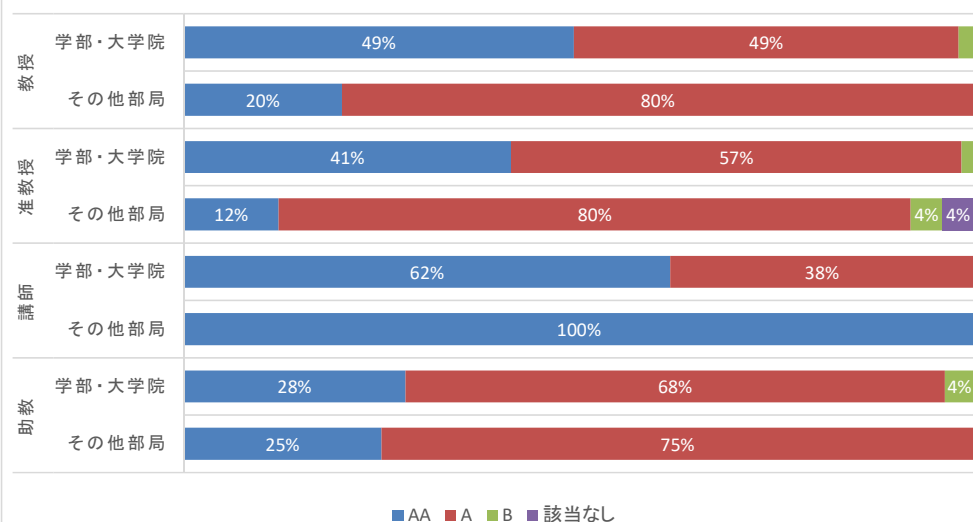
■まとめ

- ※ 【教育】 5つの学部・大学院及び大学教育支援機構では、AAが35%以上を占めている。また、学部・大学院の教授及び准教授では、AAが40%以上で、その他部局の2倍以上となっている。
- ※ 【研究】 5つの学部・大学院、乾燥地研究センター、大学教育支援機構及び生命機能研究支援センターでは、AAが35%以上を占めており、総合メディア基盤センターでは、Bが50%を占めている。また、全職名において、学部・大学院はその他部局よりAAの割合が高い。さらに、助教については、学部・大学院及びその他部局のどの職名よりもBの割合が高い。
- ※ 【社会貢献・国際交流】 医学部、医学系研究科、工学研究科及び農学部では、AAが35%以上を占めている。また、全職名において、学部・大学院はその他部局よりAAの割合が高い。
- ※ 【管理・運営】 地域学部、医学部、医学系研究科、農学部、総合メディア基盤センター及び産学・地域連携推進機構では、AAが35%以上を占めている。また、学部・大学院の教授では、AAの割合がその他部局の5倍以上となっている。さらに、その他部局の准教授及び助教では、学部・大学院よりAAの割合が高い。

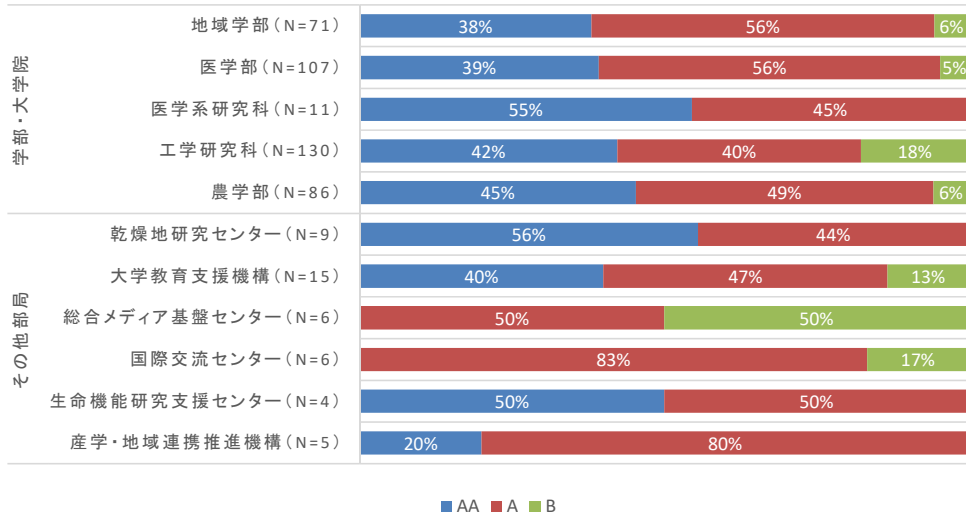
部局別評価結果【教育】(N=450)



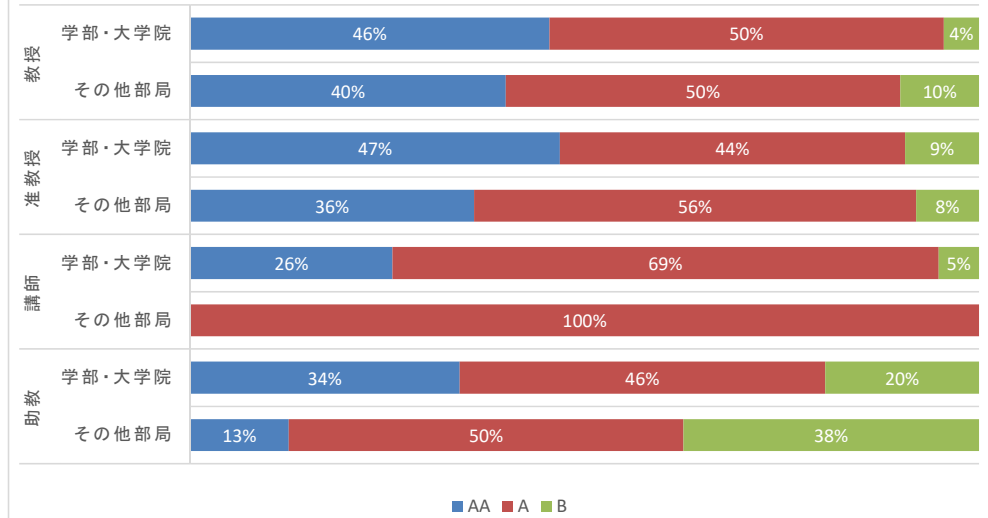
職名別評価結果【教育】(N=450)



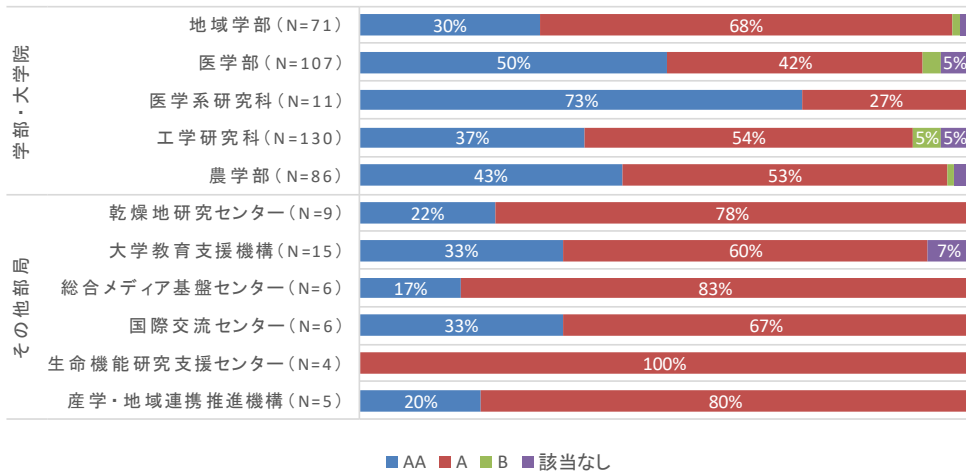
部局別評価結果【研究】(N=450)



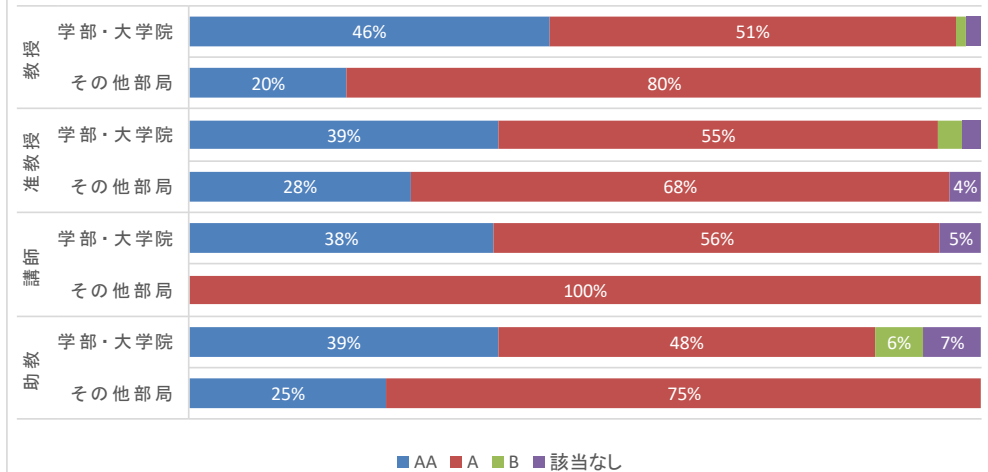
職名別評価結果【研究】(N=450)



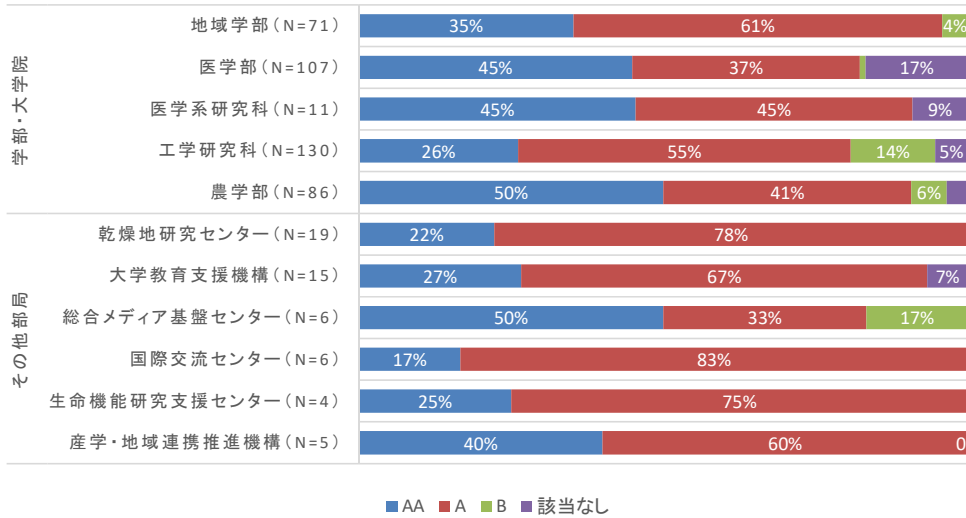
部局別評価結果【社会貢献・国際交流】(N=450)



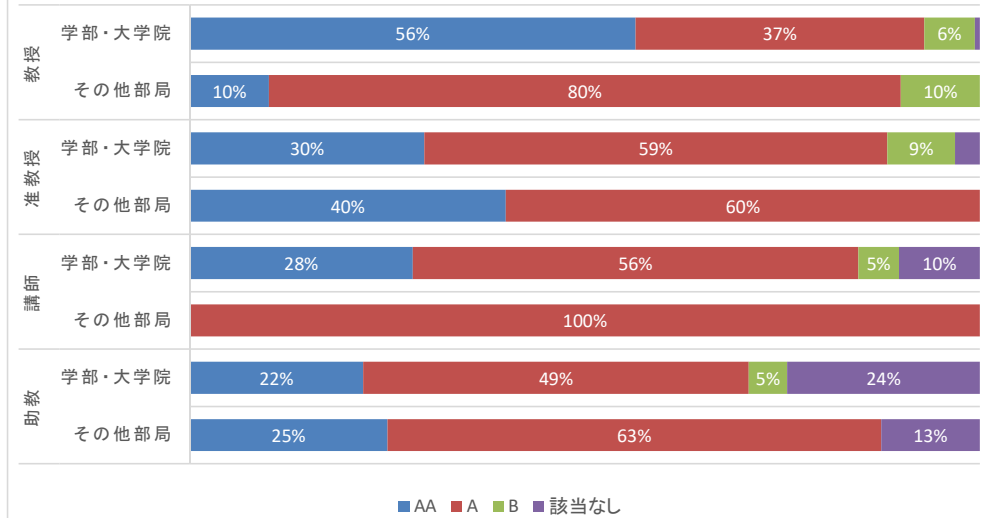
職名別評価結果【社会貢献・国際交流】(N=450)



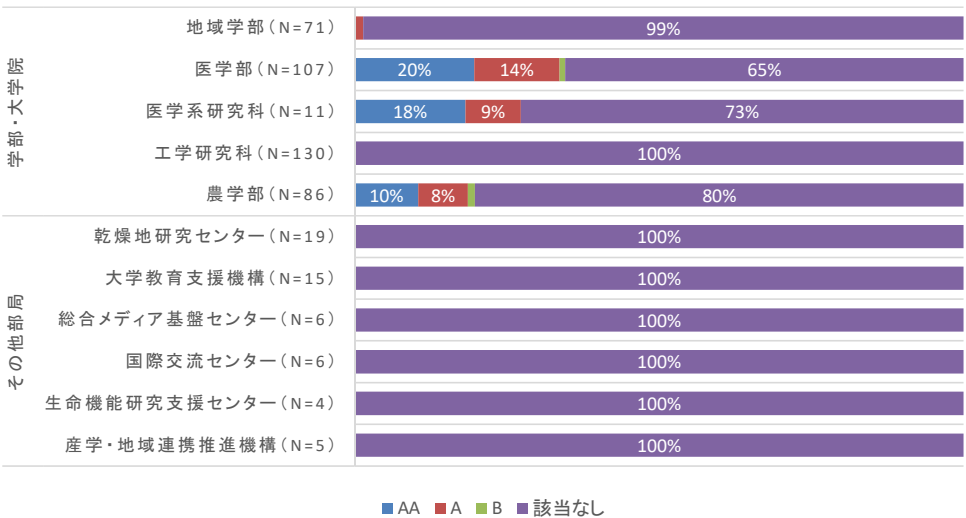
部局別評価結果【管理・運営】(N=450)



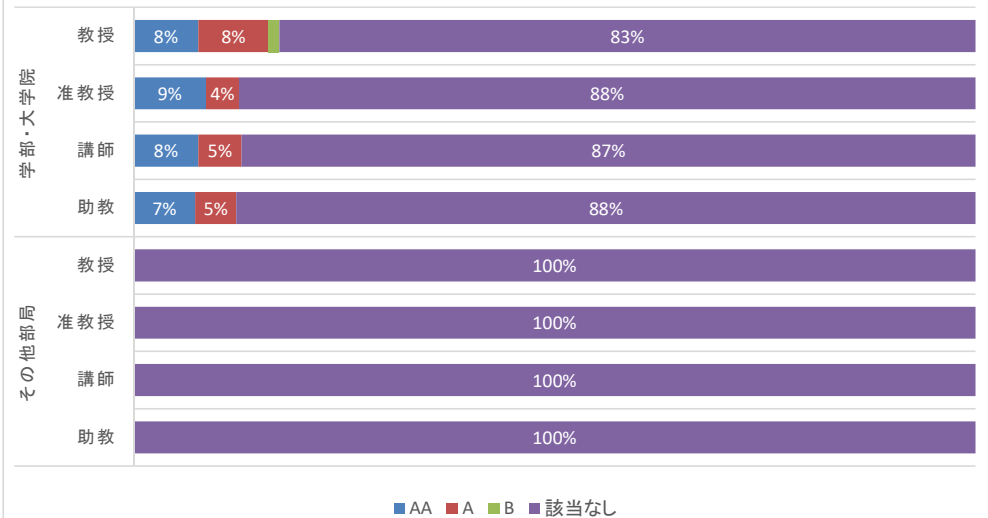
職名別評価結果【管理・運営】(N=450)



部局別評価結果【診療】(N=450)



職名別評価結果【診療】(N=450)



※評価結果の割合は、小数点以下第1位を四捨五入して表示。